

特定非営利活動法人 ブックスタート 2015 年度 事業活動報告

[1] 情報提供事業 ～ 実施に役立つ情報の提供とネットワークの構築

各種情報の提供とネットワークの構築

① 市区町村自治体からの問い合わせ・相談対応／資料提供／関係構築

実施中及びこれから活動を開始しようとする自治体からの問い合わせや相談（例：パックの注文方法、名称の使用、手渡す絵本の選び方、運営方法など）に対応。NPO ブックスタートを通じた非営利の仕組みを利用していない／活動を中止した自治体に対しても無料資料を提供した。

② ニュースレター 発行

実施自治体には原則 2 部ずつ、希望に応じて関係機関分として 3 部以上を無料提供。より多くの人に情報を活用してもらえるよう、紙媒体に加え、ウェブサイトにて PDF データを掲載。

2015 年度の内容

No	事例紹介	特集 / 寄稿	連載コラム
48	大阪府 豊中市	寄稿： 「ブックスタートに関わって～財政課経験者・広報担当者の声～」 (鳥取県境港市/広島県廿日市市)	代田 知子 埼玉県 三芳町立図書館 館長
49	宮城県 角田市	寄稿：「赤ちゃんに心地よい空間を」(京都府南山城村) 特集：「今の子育て事情や親子をより深く理解するために ～私のおススメ本を紹介します～」	
50	群馬県 高崎市	特集： 「2016-2017 年度ブックスタート赤ちゃん絵本 20 冊が決定」	
51	東京都 八丈町	寄稿：「姫島村の“つながる”ブックスタート事業」(大分県姫島村) 特集「2015 年度ブックスタート研修会 in 静岡」開催報告」	



③ 実施資料セット 提供

実施自治体の事務局担当者へ無料提供

実施資料セット（新規実施自治体の場合）

【DVD】『ブックスタート しあわせひろげる、愛情ことば。』、
『3つの地域の事例から』

【書籍】『赤ちゃん絵本をひらいたら ブックスタートはじまりの 10 年』、
『「ブックスタートがもたらすもの」に関する研究レポート』、
『講演会シリーズ Vol.01 赤ちゃん・絵本・ことば』
『対談 赤ちゃん絵本をひらくひととき』、

【資料】ニュースレター、広報アイデア集、
NPO ブックスタートからの情報提供について、
対象者向け活動紹介シート [点字・拡大文字版][外国語版]、
事業成果のまとめ方(書式案：年次報告書・アンケート)、
著作権やロゴマーク・名称の使用に関する Q&A、パンフレット、無料ポスター(見本)、
ニュースレター送付部数変更申込書、展示パネル貸出案内、パンフレット・ポスター請求用紙、
ロゴマーク使用許可申請書・合意書



④ 都道府県への情報提供と関係構築

都道府県の担当者（県立図書館・教育委員会・子育て支援・母子保健）へニュースレター等を送付し、随時問い合わせに対応。

「ブックスタート研修会」および「講演会シリーズ」の開催に際しては、市町村への周知について開催府県である大阪府及び静岡県の協力を得た。

各地の情報を収集

⑤ 取材・見学

ブックスタート実施会場を取材・見学し、実践に関する情報を収集。ニュースレターやワークショップ、研修会などで紹介した。

訪問先 8 市町

北海道恵庭市 / 群馬県高崎市 / 千葉県千葉市 / 東京都八丈町 / 神奈川県茅ヶ崎市 / 静岡県三島市 / 石川県能美市 / 鳥取県境港市

⑥ 地域での実施に関する情報収集

毎年パック注文時に実施自治体から提出される「実施状況確認シート」により、各地域の情報を収集。必要に応じて個別に担当者へのヒアリングを行ったり、各地域作成の資料の提供を依頼・収集したりした。

集まった情報は NPO ブックスタート内で共有し、必要に応じて自治体からの問い合わせ対応時やスタッフブログなどで紹介した。

また、ある実施自治体と共催で、ブックスタートを受けた保護者へのグループインタビューを実施し、活動に対する意見をヒアリングした。

障がいのある方への対応

⑦ 自治体担当者向けハンドブック発行

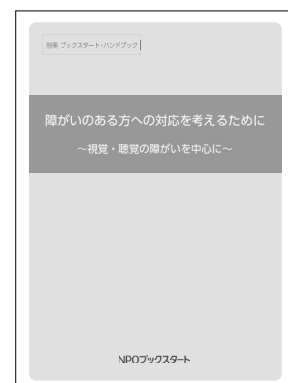
障がいのある対象者（保護者・赤ちゃん）に対応する際に参考となる情報をまとめた、自治体担当者向け冊子を発行し、実施自治体へ無料で提供。発行にあたっては、監修の攪上久子氏をはじめとする専門家の方々の助言を得た。

『障がいのある方への対応を考えるために～視覚・聴覚の障がいを中心に～』

NPO ブックスタート 編 / 攪上久子 監修
2016年3月発行 / A4 52 ページ

【目次】 はじめに
監修によせて
【寄稿】 Kちゃんのこと

- 第 1 部 視覚や聴覚に障がいのある赤ちゃん・保護者と絵本
1. 視覚障がい（目が見えない／見えにくい）
 - (1) 視覚障がいを知る
 - (2) 視覚障がいの赤ちゃんとは絵本
 - (3) 視覚障がいの保護者と絵本
 2. 聴覚障がい（耳が聞こえない／聞こえにくい）
 - (1) 聴覚障がいを知る
 - (2) 聴覚障がいの赤ちゃんとは絵本
 - (3) 聴覚障がいの保護者と絵本

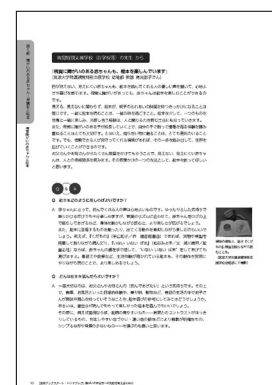
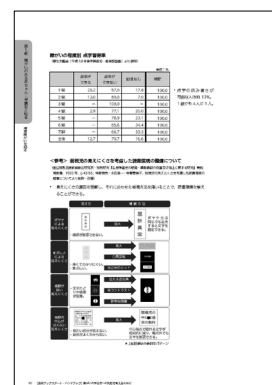


第2部 ブックスタートで一人ひとりに合わせた対応をするために

1. 幅広い連携の必要性
2. 障がいへの理解を深める
3. 対象者の把握
4. 絵本の用意
 - (1) 楽しみやすい絵本を選ぶ
 - (2) ボランティアの協力を得て、絵本に工夫を施す
5. 対象者を迎える準備
 - (1) 手渡す資料を工夫する
 - (2) 情報を得やすい環境をつくる
6. 丁寧な説明を行う
7. 対象者の立場に立つ
8. パックを手渡せなかった人へのアプローチ
9. NPOブックスタートによるサポート

第3部 参考情報

1. 障がいに関する基本情報
2. ブックスタート後も絵本を楽しめるように
 - (1) 絵本のバリアフリーに関する情報
 - (2) 図書館における障がい者サービス

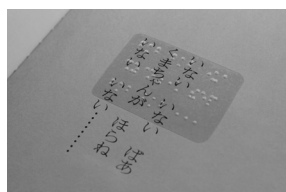


⑧ 自治体へのサポート

点字・拡大文字版の対象者向け活動説明資料を、新規実施自治体及び追加の要望があった自治体へ無料で提供した。また、ブックスタート赤ちゃん絵本 20冊について、著作権者の協力を得て、「てんやく絵本」を用意し、各自治体から視覚に障がいのある対象者に手渡したいとの要望があった場合に交換できる体制を整えた。

「てんやく絵本」とは

市販の絵本に、塩化ビニール製の透明なシートを手作業で貼りつけたもの。文章をシートに点訳し、文字の部分に貼付するほか、絵にも輪郭をかたどったシートを貼ったり、絵についての補足説明を点字で添えたりする。見える人と見えない人が一緒に楽しむことのできるよう配慮された絵本。



文章を点字にした透明シートを、文字の近くに貼付



絵の輪郭が分かるようにシートを貼るほか、補足説明(物の名前や色など)を点字にしている

『いないいないばあ』(童心社)のてんやく絵本より (製作協力: てんやく絵本 ふれあい文庫)

[2] 研修事業 ～ ワークショップ・研修会の開催

① 「ブックスタート研修会」開催

静岡県にて開催。2005年度からの開催数は25回(23都道府県)となった。

ブックスタート研修会 in 静岡

2015年10月19日(静岡市) 後援/静岡県・静岡県教育委員会
参加者/81名(自治体職員・ボランティアなど)

<プログラム>

- (1) 事例紹介(三島市・沼津市・浜松市)
- (2) ワールド・カフェ*「ブックスタートを語りあおう」

*ワールド・カフェ

カフェにいるようなリラックスした雰囲気の中で、少人数のグループでの対話を、メンバーを替えながら行う話し合いの手法。



② ワークショップ実施

新たに事業を立ち上げる地域や実施を検討中の地域、すでに実施している地域からの依頼を受け、職員を派遣。活動に関わる自治体各部門の職員・ボランティアなどに対して、活動に関する情報を直接紹介した。なお、ワークショップ実施の際、各地域には東京からの交通費の負担を依頼している。しかし、遠方のため交通費全額の負担が難しい場合には、NPOブックスタートがその費用を一部負担する取り組みを行った。

訪問先 43市町(計45回) *交通費をNPOブックスタートが一部負担した地域(8市町)

【福島県】二本松市

【茨城県】日立市・石岡市(2回)・小美玉市【栃木県】佐野市・野木町【群馬県】前橋市・桐生市

【埼玉県】熊谷市・加須市(2回)・志木市・新座市・本本市・三郷市・幸手市

【千葉県】千葉市・柏市・市原市・鎌ケ谷市【神奈川県】平塚市・大和市

【新潟県】新潟市【福井県】勝山市

【静岡県】三島市・磐田市・御殿場市・函南町

【愛知県】名古屋市天白区・西尾市・日進市・田原市

【滋賀県】長浜市【兵庫県】宝塚市【和歌山県】橋本市*

【山口県】岩国市*【徳島県】徳島市*・吉野川市【香川県】高松市*

【福岡県】飯塚市*・みやま市*・みやこ町*

【佐賀県】武雄市【宮崎県】宮崎市*



千葉県千葉市

③ 講演会・研修会 協力(講師派遣)

計3回

・宮城県 市町村子ども読書活動推進事業「ブックスタート講座」

・福島県 読書活動支援者育成事業 ステップアップ研修
(計4回/南相馬市・下郷町・中島村・郡山市)

・児童図書研究会 2015年度全国学習会 姫路学習会



宮城県

④ 関係者交流会 開催

異なる地域や立場の関係者による交流会を開催した。

ワールド・カフェ「ブックスタートを語りあおう」

2015年6月2日（東京都渋谷区・東京体育館 第2会議室）

参加者 / 19 地域 25 名

（図書館 12 名、保健センター 3 名、子育て支援課 2 名 ボランティア 8 名）

<話し合いのテーマ>

- ① あなたは、ブックスタートにどのような可能性を感じますか？
- ② さらに活動をよくするために、私たちに何ができるでしょうか？
何が必要でしょうか？

<参加者の声> ※全体共有での発表とアンケートより

- ・ いろいろな人の話を聞き、ブックスタートの可能性はまだまだあると感じた。地域でもっと話し合い、さらに良い活動にしていきたい。
- ・ 今日の話は全て地域に持ち帰りたい。事業開始から10年が過ぎたが、きちんとした検証は行っていなかったため、早速、振り返りを行いたい。
- ・ ボランティアや図書館職員、保健師と、ブックスタートについてじっくり話し合う機会がなかったと気づいた。ぜひ、地域でこうした機会を持ちたい。
- ・ 「教わる」「学ぶ」というより、「考える」機会になった。ブックスタートが「変わってはいけない部分」「変えなければいけない部分」を、常に意識することが大切だと思った。
- ・ 対象者以外へのPRという話が印象に残った。市民みんながブックスタートを知ること、地域で子育てを支えることにつながると感じた。
- ・ 改めて、ブックスタートは、非常に明るく前向きで、元気の湧いてくる事業だと実感することができた。



グループ毎の話し合い



全体共有

[3] パック提供事業 ～ 自治体向けにパックアイテムを提供

① ブックスタート・パック 流通

自治体からの注文に基づき、ブックスタート・パックとして、絵本やイラスト・アドバイス集、コットンバッグ、よだれかけを提供した。

② 「2016年度ブックスタート・パック購入ガイド」発行

NPOブックスタートを通じた「非営利のしくみ」で提供する絵本やアイテムの購入に関する資料を発行した。実施自治体及び過去に問い合わせのあった自治体へ無料提供。

③ イラスト・アドバイス集 改訂

イラスト・アドバイス集（2000年10月発行）の改訂に着手した。適宜、専門家の助言を得ながら進行中。2016年8月に発行し、9月に自治体へ見本を送付する。自治体への納品は2017年3月からとなる予定。

④ 2016 年度 -2017 年度ブックスタート赤ちゃん絵本 20 冊 選考

2015 年 5 月、2 日間にわたり絵本選考会議を開催。「赤ちゃんが保護者と豊かな言葉を交わしながら楽しい時間を過ごすことで、心健やかに成長することを応援する絵本」という選考規準に沿って、赤ちゃん絵本の関係について知識と経験が豊富な 5 名の選考委員により、2016 年度及び 2017 年度に自治体へ提供する「ブックスタート赤ちゃん絵本 20 冊」が選考された。

選考に先立ち、NPO ブックスタートでは、日本国内で出版されている 2 歳児以下を対象とする絵本の書誌情報及び見本絵本の提供を出版社に依頼。更新した赤ちゃん絵本データベース（約 4,700 冊分）を選考委員へ提供した。新たに提供を受けた見本絵本を加え、NPO ブックスタート内に保管している「赤ちゃん絵本ライブラリー」への収蔵数は 4,000 冊を越えた。

選出された絵本については、各出版社に、ブックスタート推進のための「非営利のしくみ」の中で、特別な価格と流通を適用して提供することに対する協力を依頼し快諾を得た。

その後、全ての絵本は、赤ちゃんがなめる可能性のある外側のコーティングについて食品衛生法に基づく安全性検査を実施し、2016 年 3 月より自治体への提供を開始した。

2016-2017 年度 ブックスタート絵本選考委員（敬称略・50 音順）

遠藤 利彦	（乳幼児発達／東京大学大学院 教授）
金澤 和子	（市民グループ「子どもと本」代表）
庄司 みゆき	（保育士／東京都武蔵野市まちの保育園吉祥寺 園長）
永島 緑	（司書／大阪府豊中市立図書館）
平田 恵美子	（沖縄県子どもの本研究会 顧問）



[4] 広報活動事業

ブックスタートへの理解度や立場に合わせた情報発信

① マスコミや一般からの取材／問い合わせへの対応

マスコミや一般の方（保護者、ボランティア、研究者、議員、学生など）からの取材／問い合わせに対し、情報提供や資料提供を行った。

② ウェブサイト www.bookstart.or.jp 運営

実施自治体数、ニュースレター、スタッフブログなどを随時更新。また、Facebook 公式ページを通じた情報発信も行った。

③ 様々な分野での活動紹介

国（文部科学省、厚生労働省、内閣府少子化担当）、図書館・保健師や子育て支援関係者、小児科医、出版業界団体などに対し、定期的に情報提供を行った。

講演イベント

④ 「子ども・社会を考える」講演会シリーズ 開催

2013年度から開始した講演会シリーズの第3回目を開催。大阪府や近隣県を中心に、関東・関西地方などからも自治体関係者・ボランティア・一般の方が参加した。

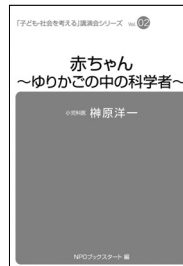
「子ども・社会を考える」講演会シリーズ③
「社会で子どもをはぐくむ」 臨床心理士 武田信子
2016年3月12日（大阪市）
参加者／63名（自治体職員・ボランティアなど）



⑤ 講演会シリーズ 記録集 発行

第2回目の榎原洋一氏の講演内容について、記録集を発行。実施自治体及び関係者へ無料で提供した。

「子ども・社会を考える」講演会シリーズ Vol.2
『赤ちゃん～ゆりかごの中の科学者』
小児科医 榎原洋一
NPO ブックスタート 編
2016年3月発行
A5 52ページ／本体 500円＋税



ブックスタートや関連情報の収集

⑥ 新聞クリッピングなどによる情報収集

ブックスタートや関連情報（赤ちゃんと絵本に関する活動、読書推進活動、行政の施策や計画の動きなど）を新聞クリッピングやインターネット、子どもの本に関する講演会や赤ちゃん・子育てに関するシンポジウムへの参加などを通じて収集した。

海外との情報共有 ～ 日本の経験の発信と海外情報の収集

⑦ 海外との情報共有

英国の推進団体 Booktrust（ブックトラスト）をはじめ、各国の推進団体と情報を共有。

[5] 研究・調査事業

① 調査研究に関する情報収集

各地域で実施する調査やブックスタートをテーマとした研究に関する情報を収集。